

# ほこぶる



社会福祉法人

ミッドナイトミッションのぞみ会

乳児院 望みの門方舟乳児園

〒299-1607 千葉県富津市湊 705

TEL 0439-67-2131 FAX 0439-67-2134

URL <http://www.nozominomon.or.jp>

Eメール [hakobune@nozominomon.or.jp](mailto:hakobune@nozominomon.or.jp)

発行責任者 佐野 毅

編集責任者 島野 佳央里

第5号 2011年1月1日

## 謹賀新年

新春恒例箱根駅伝

繋げなかつた襷(タスキ)

園長 佐野 毅

正月の風物詩。大学箱根駅伝をテレビ観戦しました。「山上りの神」と称され百年に一人の逸材と謳われた柏原選手を擁する東洋大学が下馬評どおり往路で一着となりましたが、二日目の復路では大波乱が起き、地力に勝る早稲田大学が総合優勝で幕を閉じました。

御承知のとおりこの駅伝には残酷とも言わべきルールがあります。それは「繰り上げスタート」といって、復路七区の小田原中継所以降において、トップとの差が20分以上開いてしまうと、次区のランナーは前走の選手を待たずして(つまり前走ランナーから襷をもらわずにして)出発しなければならぬ、という屈辱のルールがあります。無情にも今年の名門日本大学が一〇区鶴見中継所においてトップの早稲田大学に二〇分以上遅れをとってしまったので最終ランナーは前走者を待たずしてスタートを余儀なくされました。

ほどなくして九区を走り終えた日大の選手が息も絶え絶えに無人の中継所に飛び込んできました。しかし、襷を渡すべき最終ランナーは既に繰り上げスタートしてしまったので、もはやその後ろ姿さえ見え、今走り終えたばかりのその選手は中継所に棒立ちとなり悔

し涙で顔をくしゃくしゃに濡らし、彼にとっての箱根駅伝は終わりました。

駅伝とは、襷を次のランナーにつないでその競技です。その襷を「つなぐ」ことが出来なかつたときの無念、悔しさは計り知れないものがあることでしょう。

一方、私たち乳児院の仕事も、広い意味で襷を「つなぐ」役割を課せられていると思います。種々様々な困難な事情を抱えて「もう子育ては限界」とギブアップしてしまった保護者から児童相談所を通じて大切な赤ちゃんの養育を託され、一定期間子どもたちを大切に養育し、再び保護者の元へ、もしくは里親さんや児童養護施設へと「つなぐ」役割があります。駅伝には「繰り上げスタート」があつても、乳児院には「繰り上げスタート」はあつてはならないのです

「つなぐ」のは、襷の代わりに「愛情」であつたり「信頼」であつたり、子どもたちの健やかな育ちを確かに支える確固たる使命感であります

現在9名の子どもたちがいますが、昨年は1名は里親さん宅へ、1名は児童養護施設へとそれぞれ巣立って行きました。今年も、1名は実親さんの元へ、2名は養親さんの元で養子縁組されて巣立って行くとうとしています。「愛情」という襷を確実に「つなぐ」ために今年も職員一同力を合わせて前進して参ります。「ご指導」「ご支援よろしくお願いたします。

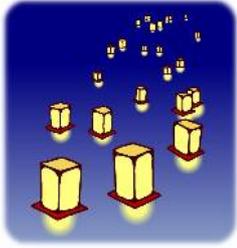
## 8月14日 灯籠流し

地元岩坂自治会から分けて戴いた灯籠に、子どもたち一人一人の手型スタンプで、カニの絵を描きました。当日は手作りの灯籠を持って、湊川の川辺まで夏の夕暮れ時のお散歩です。湊川に着いた頃には辺りはすでに真っ暗になっていましたが、川辺にぶら下がっている提灯の明かりがとてもきれいでした。

川面にゆらゆらと流れている沢山の灯籠は幻想的でとても綺麗な光景でした。子どもたちも口々に「キラキラだね」と言い、ずっと眺めていました。

帰りに一人一つずつミッキーマウスの形をした蛍光ライトを買いました。初めて目にする光のおもちゃに、子どもたちは興味津々。方舟乳児園に戻って来るまで大事そうに持っていました。

夏の夜の楽しい思い出となりました。



## 9月22日 お月見

9月になり、子どもたちと一緒に作った紙粘土のお団子をススキと一緒に室内に飾っておきました。

十五夜の日のおやつは、お豆腐入り白玉団子。子どもたちはみんなすぐに「お団子だ」と分かり、嬉しそうにしています。

夜はみんなで芝生のお庭に出て、夜空に高々と上っているまん丸のお月さまを初めて見ました。絵本で見るとお月さまとはちよつと違い、はじめは不思議そうに見ている子どもたち。そんな中突然「お月さま？」とお庭の真ん中で明るく光っている丸い水銀灯を指さし言い出すYくん・・・確かにお月さまに似ているよね。

子どもたちは、お月見の後も夜になると窓から外を眺めては、「お月さま！」と言って盛り上がり上がっていました。

## 9月24日 ぶどう狩り



食欲の秋。今年は美味しいぶどうを求め、JA富津のぶどう狩りへ、みんなで久しぶりのバスに乗っての小旅行。

20分ほどでぶどう農園に到着し、全員での記念撮影。みんな笑顔ではないチーズ。

試食のぶどうを思う存分頂き、子どもたち全員がぶどうを房から直接もぎ採るといふ体験も出来ました。自分の顔よりも大きなぶどうの房を、みんな嬉しそうに手に持っています。

した。お腹も心も満腹になり、笑顔いっぱい。帰りのバスに乗り込みました。

## 10月31日

## ハロウィンパーティー

今年のハロウィンは、子どもたち一人ひとりに黒いマントを作り、女の子はフリルのスカートとワッペンで可愛らしさを出しました。園長にもハロウィンの仮装をしてもらい、綺麗な飾り付けの前で記念写真を撮りました。

おやつには、かぼちゃのクッキーとかぼちゃ入りのバウンドケーキを焼き、仮装した衣装をつけたままみんなで楽しく食べました。甘いのが苦手な子も「おいしいー」と言って食べていました。

今年は「手作り」にこだわり、ハロウィンの雰囲気がいよいよ一層醸し出せて楽しいひと時が過ごせました。

## 11月13日

## かずさの里感謝祭

子どもたちは朝から元気に「お出かけ！」と嬉しそうにはしゃいでいました。

かずさの里に着き、普段はあまり見ることのないたくさんの人たちに圧倒されてしまい、



中には緊張して固まってしまった子もいました。

ゲームコーナーではヨーヨーすくいや輪投げをして遊び、とても楽しそうにはしゃいでいる姿を見ると、さつきまで緊張していた子と同じ子どもとは想像もつきません。

昼食は、出店で買った焼きそばとおでん。おやつに、と買ってきた綿あめとチョコバナナですが、初めて口にする子もいて、はじめは不思議がって中々食べようとしませんでした。しかし、一口食べると甘くて美味しいのが分かったのか、それからは次々と口に運んでいました。新しい味覚を楽しめたね。



11月27日

## はこぶね音楽会

日頃の生活の中で色々な歌を唄っているの、今日はその歌を発表する日です。お客様は職員と丁度その日に面会にいらしたMちゃんのご両親です。

子どもたちが午睡中に担当保育士がこっそりと部屋の装飾をしておいた為、午睡から目覚めて部屋を見た子どもたちはびっくりしていました。

折り紙で蝶ネクタイを作り、子どもたちの

襟元につけたのですが、中には嫌がってすぐにはがしてグチャグチャに：なのでテープで頭につけ、リボンにしました。

いつもは元気に歌を唄っている子どもたちも、お客様がいらつしやると恥ずかしがって唄えなかったり、逆にはしゃぎ過ぎてダイナミックに動き回り、歌どころではなくなってしまうったり・・・そんな中女の子たちは、職員の歌に合わせて手振りをしたり、発音は不明瞭ながらも一生懸命に唄ったりしていました。短い時間でしたが、とても微笑ましいひと時でした。

12月2日

七五三



方舟乳児園で初めての七五三のお祝い。今度のお誕生日で満3歳になるMちゃんとYくんの大切な行事です。Mちゃん・Yくん、園長と担当保育士の4人で朝から園を出発です。

お祝いを兼ねてお昼はファミリーストランで食事をし、その後は木更津の写真館に行き、和装の衣装を着て記念撮影をしました。2人とも和装がとてもよく似合っていて、写真もばっちり決まっていました。

写真館の中で2人の晴れ姿を間近で見ながら、子どもたちの成長の喜びを感じることができました。帰りには木更津八剣八幡神社に立ち寄り、祈願もしました。これからも子ども

もたちが健康ですくすく成長していけますように、と。

MちゃんYくん、七五三おめでとう！



12月18日

## 法人クリスマス会

歌の出し物では、方舟乳児園とかずさの里の幼児さんたちと合同で発表です。真っ白い衣装を纏い、頭には天使のリング。可愛い天使たちに大変身です。

いざ発表になると普段練習しているようにはできず、みんな緊張でガチガチ。大勢のお客様に圧倒されてしまいました。そんな中でも泣きださず、無事に発表を終える事が出来て本当に良かったです。皆さんの前で発表する、というとても貴重な経験ができ、素敵な時間を過ごすことができました。

クリスマス会の最後にはサンタさんとトナカイさんが登場し、お菓子のプレゼントを戴くとみんな大喜び。

望みの門全体で楽しいクリスマス会を過ごすことができました。

12月24日

## 方舟クリスマス会



待ちに待ったクリスマス。子どもたちの部屋に飾り付けをしたり、サンタの色塗りをしたり、クリスマスソングを唄ったりと準備はばっちりです。

おやつの時間に、鈴の音に合わせてクリスマスソングを唄い、その音色に合わせて園長サンタの登場です。「園長パパ」と言う子や目を見開いてびっくりしている子、様々な反応がありました。

園長サンタから貰ったクリスマスプレゼントを開けると、みんな嬉しそうに手に取っていました。

そしてケーキがテーブルに運ばれて来ると「ケーキだあ」とみんな目を輝かせ、美味しそうにケーキをほおばっていました。園長サンタと一緒に食べるケーキは美味しいね！みんなで楽しくクリスマスを迎えることができました。



## 寄贈品・ボランティア

ありがとうございます

子どもたちのために温かいご芳志を賜り、職員一同大変感謝しております。ここに御礼を申し上げますと共に御報告させていただきます。

### 【寄贈品・献金】

- ・日本キリスト教団松戸教会の皆様
- ・日本キリスト教団千葉教会の皆様
- ・日本キリスト教団茂原教会の皆様
- ・日本キリスト教団長生教会の皆様
- ・望みの門京葉後援会のみなさま
- ・木更津市 池田美由紀様
- ・習志野市 井田奈津子様
- ・望みの門ホームヘルプ職員 鈴木美子様
- ・袖ヶ浦市 田沼進様
- ・(株)山下靴下製造所様
- ・木更津市 長嶺様。
- ・習志野市 猪狩友行様
- ・八千代市 山本医院院長和田雅子様
- ・君津市美容室ホットスタツフ古賀えみ子様
- 【ボランティア】
- ・読み聞かせボランティア(岡部様・新保様)
- ・植草学園短期大学 栗坂寛子様
- ・榎本香織様

## 編集後記

望みの門方舟乳児園が開設して、早くも二度目のお正月を迎えました。

昨年は特に大きな感染症に罹患することもなく、子どもたちも職員も健康に生活を送ることができたことに感謝しております。

この一年間を通して、子どもへの関わり方について職員同士で話し合う機会を増やし、より良い関わりが出来るようにと励んできました。また開設当初から二年近くの期間方舟乳児園に在籍している子が多くなり、子どもたちの成長は日々著しく、言動はもろろんのこと、子どもたちの行動範囲も広がってきました。事故や危険から子どもたちを守りつつ、冒険心や探究心が芽生えるように、子どもたちの成長を促せていけたら幸いです。

昨年一年間を通して皆様方からの温かいご支援を賜り、無事に新年を迎えることができました。感謝です。子どもたちも職員も共に成長していける一年でありますようにと願っております。

今後ともご指導・ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

(K・S)

